

森杉 典子 議員

市内小中学校での

がん教育の取り組みは

問 市内小中学校で現在行われているがん教育は、どのようなものか。

答 がん教育が児童生徒にとって非常に重要なものであると認識しており、小学5年生と中学2年生での生活習慣病予防講座の中で、がんについて説明している。また、小学5・6年生の保健の「病気の予防」の授業や、中学3年生の保健体育「健康な生活と疾病の予防」の授業の中で、喫煙と肺がんについて取り上げている。現学習指導要領の中では、がんに特化した記述はなく、さらに深い内容で扱っためには、がん教育に関する教材を準備する必要がある。加えて、がんを怖がらず誤解や偏見をなくするためにも、専門知識を持つた方の講演等の協力も必要と考えている。市で行なっている子ども健康教育支援事業等も積極的に活用していきたい。

県の子ども医療費助成の

拡充への対応は

問 県では、子育て世代を応援する子ども医療費助成の対象年齢を本年10月から引き上げる。本市の対応は。

答 平成30年10月の診療分から高校生年代までの拡充を行っていく。さまざまな条件は、今後の県の内容や近隣市町の動向を踏まえ、決定していきたい。



袋井市子ども医療費受給者証

田中 克周 議員

避難所開設・運営訓練の

実施は重要

問 先般、袋井西小学校で会場型避難所運営訓練が実施されたが、参加者の反応及び市の評価はどの程度だったか。

答 近隣住民との連携の大切さが再確認されたり、地元訓練に取り入れたいとの意向を示すなど、前向きな意見をいただいた。住民主体の避難所運営をイメージしていただけたと認識している。

本市の農産物を

世界に向けてPRを

問 ラグビーW杯に訪れる5万人の観客に、また各国のメディアやVIPへ本市の農産物を積極的にPRすべきでは。

答 レセプション等の場で、クランメロンなど高品質の農産物を積極的にPRしていきたい。

本市の「子ども会」の

現状と認識は

問 地区子ども会連合会及び市子ども会育成連合会の現状と、在り方検討会での話し合いの状況は。

答 地区子ども会連合会は、地域ごとの特色ある活動がされているが、市子ども会育成連合会は、4地区のみの加入で存続の危機に直面している。現在、改革委員会を組織し課題等を検討中である。



会場型避難所運営訓練の様子